

WHAT'S "share seeds"??

シェアする"たね"プロジェクト

家庭菜園などで自家採種したり購入したけど使いきれなかった種（在来種・固定種・自家採種）をみんなと分かち合うのが"Share Seeds"。自分が収穫した種子を封筒に入れ、"たねカード"に種の名前や蒔く時期、メッセージなどを書いて、設置された"たねBOX"に置きます。種を持ってなくても、種を蒔き育てる気持ちがあれば、誰でも自由に持っていくことができます。受け取った人は、家庭菜園やプランターで愛情を込めて育てていきます。自家採種したらたねを繋ぎ分かち合うことから、人と人、人と自然とを繋ぐ、ハワイ発の"シェアするたね"で地球を緑でいっぱいにするプロジェクトです。

Hawai'i
SHARE SEEDS

SHARE SEEDS
Japan

Share
Seeds

WHY "share seeds"??

私たちは、いのちを育むたね（=固定種・在来種）を蒔き、自家採種をし、分かち合うことから、次の世代へつないでいくことを希望しています。

今、たねの多様性と未来は危機に瀕しています。日本古来の野菜の「種」が絶滅しようとしているのです。

私たちが普段口にしている野菜のほとんどが、F1種（一代交配種）という種であり、地域で何世代にもわたって自家採種されてきた

「固定種（在来種）」はほとんど流通されていません。

固定種とは、固定された形質が親から子へ受け継がれる種のこと。

蒔いた土地に適応し、その風土に合った子孫を残していくのです。

たねは人間が操作するのではなく、風土や気候に適応しながら野菜となります。一粒一粒のたねには多様性があります。

種子を保存しシェアすることは、私たちの自由。そして、誰もが育て収穫することができる種、今年も来年も、そして再来年もまた芽生えるために新たな種を育てくれる、種はまさに生きる希望です。

『ギフト経済からはじまる幸せの"たね"』

このプロジェクトのもう一つの目的は、「渡す・与える・分かち合う」という「贈与」で成り立つ仕組みを創造していくこと。

ギフト経済とは、有機的なつながりをつくり、心豊かなコミュニティを創造することです。

これからの社会には、人がつながり合い、1人ひとりが自分らしく「優しさ」を渡し合うことで成り立つ「命（心）のつながり」が必要だと考えています。

SEED IS FREEDOM

TOGETHER WE GROW